

SDGsの視点を取り入れた地方創生の推進

持続可能な開発目標SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

本町においても、誰一人取り残さない社会の実現を目指すSDGsの理念を踏まえ、町の実情に応じたSDGsの目標を取り入れた持続可能な社会づくりが求められています。

以上を踏まえ、たぶせ未来戦略では、自治体におけるSDGsの推進にあたっての社会・経済・環境の3つの重点領域を基本に施策体系を展開するとともに、各施策がSDGsの様々な目標に結びついていることを示すため、数に示す17の目標のアイコンを使って視覚的にわかりやすく見える化をしていきます。

SDGs17の目標

